

平成27年度 第4回 池田市総合教育会議 議事録

日 時：平成28年1月25日（月）午後4時～午後5時

会 場：池田市役所 3階 議会会議室

出席者：倉田市長、山岸教育委員長、河野教育委員長職務代理者、藤田委員、小林委員、村田教育長

<事務局>

玉手副市長 総合政策部 三好 政策推進課 斎藤、楠田、山田
教育部 阪本、齋藤 教育政策課 鈴木 学校教育推進課 荒河
教育センター 阪 生涯学習推進課 田上
管理部 藤田、亀井 総務・学務課 藤井 保健給食課 塩山

傍聴者：0名

議 事

1. 教育に関する新年度予算について

- ・村田教育長より、事務局案の概要説明。

前回提案した5事業から3事業に絞った。

- ・事務局より、3つの事業について説明。

①小・中学校指導者派遣事業

習熟度別指導や、各学校が特に力を入れたい教科、領域の指導（いじめ、不登校などの課題解決、英会話、珠算など特色ある取り組み）に対して教員や専門家を派遣する。一定期間、年何回といった雇用形態にも対応する予定。

②地域学習教室事業

これまで池田地域、石橋地域で行ってきた「地域学習教室」を学習塾に委託して更にほそごう地域にも「地域学習教室」を開設することで、学力向上を図る。人数等については事業者の提案を受け検討する。

③市立幼稚園通級指導教室の開設

市立幼稚園に「通級指導教室」を開設し、要配慮児保育の支援にあたる。拠点の園に1名の専任教員を配置し、個別指導、相談できる仕組みを構築するもの。

<市 長>

- ・平成28年度事業は概ねこのとおりに実施し、平成29年度は実績を考慮して上積みをする。財源は行財政改革で捻出する。今回の事業をスタートラインとし、拡充しながら「教育日本一」を目指すという考え方である。

<教育委員>

- ・小・中学校指導者派遣事業について、学校のニーズに応じて適切な教師の配置ができれば、効果が上がると考えられる。
- ・地域学習教室事業について、学力の底上げと引き上げの2つを掲げていることはいい。

この費用で3ヵ所できるか疑問だが、事業者の選定の段階でできる限りのことが実現できるよう要望をしていってほしい。

- ・市立幼稚園通級指導教室の開設について、小中学校ではすでに行っているが、なるべく早い時期から対応した方がよいと思う。

<市長>

- ・地域学習教室事業については1500万円の予算だが、1ヶ所500万円で提案してもらえるのか。

<事務局>

- ・金額の範囲で、できるだけ希望に合う事業者を探す。

<教育委員>

- ・大学生の塾のバイトは時給2500円～3000円。専任の塾長を1人とあとはバイトであれば、1500万円で十分に事業ができるのではないか。
- ・無料で塾のような教育が受けられるとなるとたくさんの生徒が応募してくるので、選抜に苦労するのでは。
- ・事業の1年目は底上げに力を入れ、次の段階でレベルアップを図る。1年目は試行的な年でいいと思う。
- ・学校教育以外の教育に力を入れるのは新しいと思う。細河地域の地域学習教室の場所はどこか。

<事務局>

- ・伏尾台のコミュニティプラザや細河のコミュニティセンターを想定しているが、決定ではない。

<教育委員>

- ・指導者派遣事業は、人材が重要。求める人材が集まるように頑張ってもらいたい。
- ・市立幼稚園通級指導教室の開設について、3園で1人派遣ということだが、求める人材や予算を考慮して各園に1人配置できればありがたい。幼稚園で教室を開設することで義務教育への架け橋になれば、「教育日本一」に近づくとと思う。

<市長>

- ・小・中学校指導者派遣事業の人材の確保と市立幼稚園通級指導教室の開設の展望について、事務局どうか。

<事務局>

- ・小・中学校指導者派遣事業の講師の人材確保は厳しい状況。できるだけ学校のニーズに応じた講師を派遣するため、早く対応していきたい。
- ・市立幼稚園通級指導教室の開設は基本的に現在の正教員を通級指導にまわして、その

補充として講師を雇う予定。

<教育委員>

- ・将来的に、講師でもベテランの方もいるのでできるだけ各園にはりつける形を目指してほしい。

<教育委員>

- ・小・中学校指導者派遣事業は、教育委員会が困るほど提案が出ることに期待する。
- ・地域学習教室事業について、塾はノウハウがあるので効率よくやってくれると思う。ふくまる教志塾の塾生もアルバイトで入れてくれればありがたい。
- ・市立幼稚園通級指導教室については、個性、いいところを伸ばす指導をしてほしい。

<教育委員>

- ・案のとおりでいいと思う。課題の大きさに応じて事業を実施してほしい。
- ・小・中学校指導者派遣事業は非常にいい事業だが、時間がかかる。学校のニーズにどう対処するか、よく考えながら進めてほしい。
- ・地域学習教室事業はチャレンジ的な事業。走りながら考えるような面があってもいいと思う。

<市長>

- ・通級指導教室に関連して、発達障がいをもつ子どものケアシステムはわりと進んでいる。大学と連携して池田モデルを構築している。生涯のつながりのカルテを作っている。
- ・塾との連携について、予算を投入したからといって人が集まるわけではなく、相当の努力をして適任の人材を集める必要がある。議会とも事前に相談し、早めに準備しなければならない。
- ・塾のプロポーザルは新年度になるだろうが、予算の執行は満額執行にならないのではないか。

<事務局>

- ・夏を1つの目途として考えており満額執行とならない。できれば池田と石橋教室は新しい状態になるまでは現状を維持したい。

<市長>

- ・5000万円の予算のうち、3分の1か4分の1くらいは残すことになるのではないかと考えている。平成28年度に使うのが5000万円で、通年でいくと7000万ほどかかることになってもいい。
- ・通級指導では来年度から3人に増やすという考え方もある。
- ・来年のことも考えながら、平成28年度の9ヶ月で5000万円使う。初年度の中身が大事。塾との連携では、公費を投入しているので公平性を考える必要がある。教育がや

ろうとしていることを、8ヶ月予算でもいいのでやりとげる覚悟をもってほしい。

- ・予算は財政改革により確保していく。
- ・大阪府では、小学校を卒業した段階で英検の級が取得できるような教材を作成している。せつかくなので、その教材を活用できるような先生を配置してほしい。
- ・ほそごう学園を特認校にすることについて、先生方のご意見をうかがいたい。

<教育委員>

- ・特認校については賛成。見学をした際、とても立派な校舎だと思った。生徒の表情も明るい。市内の他の地域から通いたいという人がいると思う。
- ・通学路については、バスなどの手段を確保する必要がある。

<教育委員>

- ・ほそごう学園を特認校にすることは悪くないと思うが、どれだけ行きたいという人がいるかは分からない。他の地域で、特認校に人が集まるという話はあまり聞かない。地元の学校に行きたいという人が多いのではないか。しかし特色をもたせるのはありだと思う。ほそごう学園の先生が自ら特色を考えていければいいと思う。

<教育委員>

- ・中学校はいいと思うが、小学校は少し抵抗がある。ほそごう学園はまだ1年目なので、今後特色が出てきた状況を見て決めていければいいと思う。
- ・英語教育は、できるだけ早く取り入れることで特色が出ると思う。できれば池田市全体で取り入れればよいが。

<教育委員>

- ・ほそごう学園について、公立の私立校のようなイメージをもっている。公費を投入するので、機会均等ということでは希望すれば誰でも行けるようにするのは1つの答えだと思う。一貫校のメリットを出すには幼い頃から行く方がいい。交通手段の問題は出てくると思うが、少なくとも機会を与えるという意味で導入すべきだと思う。

<市長>

- ・実際するには通学審議会を開く必要がある。できるとすれば平成29年度から。

<教育長>

- ・特色を出し、他の地域の人にも門戸を開くということも含めて今後検討していきたい。

<市長>

- ・せつかくのスタートの平成28年度、5000万円というお金がきちっと執行できるように。結果的に通年で7000万円かかってもいい。そうなるよう、委員の皆さまにご指導いただきたい。

2. 教育に関する大綱について

- ・事務局より、事務局案の考え方の説明。

<教育委員>

- ・大綱は、新たに地域で特色あるものを策定することを求められているのか、それとも市として教育について再認識することが求められているのか。

<事務局>

- ・すでに策定した地域では、教育振興計画を大綱としたところも多くある。しかし内容が多く細かいので、それが大綱にふさわしいのかという議論もある。逆に、色紙に3つの単語を書いて大綱とした市もあり、市によって自由に決めている。

<教育委員>

- ・市によって独自性が求められるかどうかを確認したかった。案のとおりでいいと思う。

<市長>

- ・どこまで独自性をもたせるのかではなく、教育という大木について定め、枝葉の細かい部分はビジョンで定めるというのが教育委員会としての考え方。

<教育委員>

- ・大綱は各市によって違うものではなく、理解の違いはあっても大きくは同じで細かく決める必要はない。案のカッコ書きの部分に、社会の変化に対応できるような方向性が記載してある。

<教育委員>

- ・案のとおりでいいと思う。色紙に3つの言葉を書くのもありだったのかと思った。

<教育委員>

- ・長期にわたって変えずにすむもの、具体的には教育ビジョンで定めるということで、案のとおりでいいと思う。

<市長>

- ・あえて「教育日本一」をめざすと書かなくても、幹の部分、「こころを大切に」などを盛り込むというのが教育委員会の考え方であると思う。

<教育長>

- ・大綱というものは不易流行のものであるべき。と思う。時代の変化については毎年課題を考える必要があるが、大綱については積み上げてきたことを大切にできればいいと思う。

<市 長>

- ・予算編成作業は今週いっぱい確定する。具体的にどうするかは柔軟性も踏まえて財政部局と調整してほしい。通年でいけば最終 6500 万円になるような予算も想定しながらでもいいので、事業のスタートをきって責任を持って実行してほしい。

<事務局>

- ・大綱について、案のとおりでよろしいか。

<市 長>

- ・教育に関する大綱は、案のとおりでよろしいか。

⇒委員から異議なし、決定。

3. 閉会

- ・次回は教育委員会の定例会に合わせて開催を予定。